

県立広島大学の学生が戦国期毛利氏の『饗応の献立』を再現します！

本学人間文化学部・学部プロジェクト 研究成果発表会を 3 月 20 日に開催

1 趣旨

県立広島大学人間文化学部では、毛利三兄弟のふるさと連携協議会（安芸高田市，北広島町，三原市）より提案された，戦国期毛利氏の饗応食を再現し，毛利氏が戦国大名として支配していた安芸高田市，北広島町，三原市での観光面，文化面，教育面での活用について「平成 30 年度地域課題解決研究」として取り組んでいます。

平成 31 年 3 月 20 日（水），本学広島キャンパスにて「戦国期毛利氏の食卓復活：饗応食の意義探求とその文化・伝統の多面的活用に関する研究」の研究成果を饗応の献立（三膳十献）の再現とともに報告しますので，取材をお願いいたします。



2 研究成果発表会の概要

- (1) 日時：平成 31 年 3 月 20 日（水）15:00～
- (2) 会場：県立広島大学広島キャンパス 調理科学実験室・調理実習室（教育研究棟 1・3 階）
（広島市南区宇品東一丁目 1-71）
- (3) 内容：三浦学部長によるあいさつ，学生による研究成果の発表，饗応の献立のお披露目

3 今後の予定

平成 31 年 3 月 23 日（土），三原市芸術文化センターポポロで開催する，毛利三兄弟のご当家による「三矢の訓対談」（主催：安芸高田市，北広島町，三原市）において，研究の成果を発表し，再現食の一部を数量限定で試食提供します。

4 お問い合わせ先

県立広島大学 人間文化学部 健康科学科 すぎやま すみ 杉山 寿美

E-mail: sugiyama@pu-hiroshima.ac.jp

戦国期毛利氏の食卓復活： 饗応食の意義探求とその文化・伝統の 多面的活用に関する研究

- 日 時 平成31年3月20日(水)15時～
- 会 場 県立広島大学 調理科学実験室・調理実習室
(教育研究棟1の3階)

■ 内 容

現在、本学人間文化学部では学部プロジェクトとして、「戦国期毛利氏の食卓復活：饗応食の意義探求とその文化・伝統の多面的活用」を研究テーマに、毛利氏の饗応食の再現を進めています。このたび上記の日程で、その研究成果を饗宴の献立(三膳十献)の再現とともに報告します。

※本研究は三矢の訓協定に基づき、「平成30年度地域課題解決研究」として毛利三兄弟のふるさと連携協議会(安芸高田市, 北広島町, 三原市(事務局三原市教育委員会文化課))が本学に提案し、実施されているものです。



※当日の試食はできませんが、平成31年3月23日に三原市芸術文化センターポポロで開催される「三矢の訓対談(主催:安芸高田市, 北広島町, 三原市)」において、再現食の一部が数量限定で試食提供されます。

- 主 催 県立広島大学 人間文化学部
同大学院総合学術研究科 人間文化学専攻
- 共 催 毛利三兄弟のふるさと連携協議会
(安芸高田市, 北広島町, 三原市)
- 問 合 先 〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1-71
健康科学科 杉山寿美 (E-mail sugiyama@pu-hiroshima.ac.jp)